

平成23年4月28日現在

機関番号：22604

研究種目：若手研究(B)

研究期間：2008～2011

課題番号：20730243

研究課題名(和文) 社会に遍在する企業家：社会的現象としてのベンチャービジネス

研究課題名(英文) The omnipresent entrepreneurship in society; venture business as social phenomenon

研究代表者 高橋 勲徳

首都大学東京・社会科学研究所・准教授

研究者番号：70352482

研究分野：社会科学

科研費の分科・細目：経営学・経営学

キーワード：ベンチャー 中小企業 環境政策 社会学 経営学

### 1. 研究計画の概要

本研究課題は、社会的現象としてのベンチャービジネスを捉えるために、①企業家研究の制度派アプローチ、社会企業家研究、企業家研究の実践的転回といった先端的研究の理論的・方法論的検討と、②神戸市元町地域や大阪市天満界限での企業家集積、沖縄・北海道におけるエコツーリズム、大企業における社内起業家精神および、老舗企業の存続における企業家精神の発露などといった事例に基づいた経験的検討を行うことを目的としている。

### 2. 研究の進捗状況

①理論的・方法論的検討については、制度派アプローチ(『組織科学』『経営と制度』)、企業家研究のナラティブ・アプローチ(『国民経済雑誌』)、社会企業家研究(『企業家研究』に投稿中)に関する論文を作成し発刊している。②経験的検討については、神戸市元町における華僑企業家の集積(『ベンチャーレビュー』および *Industrial Innovation in Japan*)、大阪市天満界限での企業家集積(『組織科学』)、沖縄におけるエコツーリズム(『年報村落社会研究』)については学会誌に論文が掲載されている。また、大企業/老舗企業における企業家精神の発露それぞれの事例については首都大学東京リサーチペーパーとしてその成果が発表されている。加えて、2000年代の欧米の企業家研究における理論的・方法論的展開に基づいて構成した理論的枠組みの下で、我が国におけるベンチャー事例の経験的検討を行った研究成果が、滋賀大学研究叢書として刊行された。

各理論的・方法論的検討および経験的検討

については、組織学会、日本経営学会、日本ベンチャー学会、企業家研究フォーラムなど主要学会で報告したことに加え、日本村落社会研究学会では大会シンポジウムの報告者として、日経企業行動コンファレンスでは報告者として招待されている。また、神戸元町における華僑企業家の集積に関する経験的研究については、2009年度日本ベンチャー学会・清成忠男賞を受賞した。

### 3. 現在までの達成度

①理論的展開の検討については、企業家研究における制度派アプローチ、社会企業家研究、方法論的展開が専門学術誌に論文が掲載され、②経験的検討についても神戸市元町地域や大阪市天満界限での企業家集積、沖縄・北海道におけるエコツーリズム、大企業における社内起業家精神および、老舗企業の存続における企業家精神の発露についてそれぞれ専門学術誌に掲載、もしくはリサーチペーパーとして発刊されている。他方で、企業家研究における実践的転回の理論的検討と、北海道におけるエコツーリズムの事例について未完成であるため、80%の達成度であると判断される。

### 4. 今後の研究の推進方策

企業家研究における実践的転回および、北海道におけるエコツーリズムの事例に関する経験的検討について、過去3年間で蓄積してきた研究成果をまとめ、論文として刊行する予定である。また、研究期間中に、本研究課題に関連して新たに開拓したリサーチサイト(電気自動車の普及を巡るNPO、およびベンチャー企業の出現に関する事例)の深

耕を進め、本年度中にリサーチペーパーとして発刊する予定である。

#### 5. 代表的な研究成果

〔雑誌論文〕(計 14 件)

①稲垣京輔・高橋勲徳(2011)「産業クラスター形成における地理的近接に基づく関係構築のプロセス：大阪扇町界隈におけるインキュベーション・マネジャーとクリエイター間の関係性の変化」『組織科学』第 44 巻 第 3 号, 21-36 頁.

②高橋勲徳(2011)「社会的企業-社会企業家の理論的・経験的検討：座間味村におけるダイビング産業の成立とサンゴ礁保全組織の形成を通じて」『首都大学東京大学院社会科学部研究科経営学専攻リサーチペーパーシリーズ』, No.84.

③高橋勲徳(2011)「終わりなきイノベーション：ヤマト運輸株式会社の事例」『首都大学東京大学院社会科学部研究科経営学専攻リサーチペーパーシリーズ』, No.83.

④高橋勲徳・曾根秀一(2010)「建設業界の競争戦略：株式会社竹中工務店の事例」『首都大学東京大学院社会科学部研究科経営学専攻リサーチペーパーシリーズ』, No.72.

⑤高橋勲徳(2010)「地域産業の展開と野生生物資源管理組織の構築への取り組み：座間味村のダイビング事業者による「害獣」の発見とエコツーリズムの導入」『年報村落社会研究』第 46 巻, 115-148 頁.

⑥高橋勲徳・三村真宗(2010)「電気自動車の普及を目指したインフラビジネスの展開：株式会社ベタープレイスの事例」『首都大学東京大学院社会科学部研究科経営学専攻リサーチペーパーシリーズ』, No.83.

⑦石黒督郎・高橋勲徳(2010)「環境経営の制度派アプローチに関する理論的考察」『経営と制度』第 9 巻, 65-79.

⑧稲垣京輔・高橋勲徳(2010)「企業家研究における分厚い記述：大阪天満界隈で活動するクリエイター間の関係形成の変化」『法政大学イノベーション・マネジメントセンターワーキングペーパー』, No.95.

⑨松嶋登・高橋勲徳(2009)「制度的企業家というリサーチ・プログラム」『組織科学』第 43 巻 第 1 号, 43-54 頁.

⑩吉田満梨・高橋勲徳(2009)「老舗企業のイノベーション」『首都大学東京大学院社会科学部研究科経営学専攻リサーチペーパーシリーズ』, No.70.

⑪高橋勲徳・松嶋登(2009)「企業家語りに潜むビック・ストーリー：方法としてのナラティブ・アプローチ」『国民経済雑誌』第 200 巻第 3 号, 47-69 頁.

⑫高橋勲徳・曾根秀一(2009)「老舗企業の存続を巡る「暖簾」と「近代化」：老舗宮大工企業の存続に関する一考察」『首都大学東

京大学院社会科学部研究科経営学専攻リサーチペーパーシリーズ』, No.63.

⑬Misanori Takahashi (2008) "Analysis of the Innovation Process Created through the Management of Business Incubators in the Japanese Content Industry" in Hara, T. et al. (eds.) *Industrial Innovation in Japan*, pp. 192-208, Routledge.

⑭高橋勲徳(2008)「埋め込まれた企業家の企業家精神：神戸元町界隈における華僑コミュニティを事例とし」『日本ベンチャー学会誌ベンチャーズレビュー』第 4 巻, 23-32 頁.

〔学会発表〕(計 7 件)

①高橋勲徳(2010)「社会的企業-社会企業家の理論的／実証的分析：座間味村におけるダイビング産業の成立と珊瑚礁保全組織の形成を通じて」日経企業行動コンファレンス, 於 富士教育研修所.

②高橋勲徳(2009)「村の野生生物とグリーン・ツーリズム：座間味村におけるダイビングビジネスの成立と珊瑚礁の「被害」／「管理」」日本村落社会研究学会, 於 綾部市.

③山田仁一郎・高橋勲徳・松嶋登(2009)「イノベーションの集成的行為モデル：バイオベンチャーのイニシアティブ争奪を通じた技術開発と事業創造」日本経営学会, 於 九州産業大学.

④稲垣京輔・高橋勲徳(2009)「中小企業の事業空間の再構築と地域内活動における意味形成」日本経営学会, 於 一橋大学.

⑤稲垣京輔・高橋勲徳(2009)「支配的な組織フィールドにおける起業戦略の多様性」企業家研究フォーラム, 於 大阪大学中之島センター

⑥稲垣京輔・高橋勲徳(2009)「組織フィールドと地域コンテクスト」組織学会, 於 東北大学.

⑦桑田耕太郎・松嶋登・高橋勲徳・水越康介・宇田忠司・山口みどり(2008)「制度的企業家をめぐる理論射程の経験的検討」組織学会, 於 神戸大学.

〔図書〕(計 1 件)

高橋勲徳(2008)『企業家の社会的構成：組織/集団の再生産と企業家精神』滋賀大学研究叢書, 172 頁.

〔その他〕

2009 年度 日本ベンチャー学会・清成忠男賞 受賞

( [http://www.venture-ac.ne.jp/award/award\\_k/2009/](http://www.venture-ac.ne.jp/award/award_k/2009/) 参照)